

笠間市社会福祉協議会

北川根支部だより

第134号



発行日 平成30年 1月 1日
 発行 笠間市社協北川根支部
 編集 北川根支部広報委員会
 印刷 (有)クリエイティブサンエイ

恭賀新年



支部長 鈴木 裕

新年おめでとうございます。
 会員及びご家族の皆様におかれましては、お揃いで新年をお迎えになられたこと、謹んでお慶び申し上げます。

一昨年に続き昨年も、自然界の中で人の力の無力さを感じさせられる事が多くありました。特に雨による災害(7月九州北部豪雨・10月台風21号関東縦断)がありました。限られた地域に、短時間に集中的に雨が降り、河川の堤防が決壊一挙に水が氾濫して災害をもたらしました。災害への復興と災害に見る課題に対して、私たちは人間の持っている知恵と助け合いで前向きに歩んでいます。

現在の課題でもある高齢化への対応においても知恵と助け合いで解消していかなければなりません。合併当時8万人を越えていた人口も11年過ぎ75698人、



世帯数が28603世帯、高齢化率(65歳以上)が友部地区は27%。本支部においては、人口5756人、世帯数224

5世帯、65歳以上人口1359人で高齢化率は23・6%です。年々高齢化率は増えます。現在は現役世代が「騎馬戦型」(1人/3人)で支えています。が、今後は「肩車型」「おんぶ型」(1人/1人)に進むことでしょうか。益々地域で支え合うことが重要になります。先を見すえた取り組みを構築しなければと心に期しています。

平成二十九年度の支部事業も円滑に運営でき、残すところ僅かとなりました。今後も「地域に寄り添い住民の幸せを願って」役員一同活動を展開してまいります。皆様方にとって最良の年でありますようお祈り申し上げます。新年のあいさつといたします。



女性部長 上野 昌子

明けましておめでとうございませう。皆様にはお揃いで良いお年をお迎えの事とお慶び申し上げます。日頃の女性部活動に際しましては、深いご理解とご協力を頂きまして心からお礼申し上げます。

社会状況も日々変化の中、私達の活動も漫然と例年の行事を踏襲するだけでは済まなくなつて来ております。

昨年は、北川根小学校のご協力を頂き、収穫祭にバザーを実施し、収益金は活動資金とさせて頂きました。

北川根支部研修(バス)

日時：平成30年1月17日(水)
 蘭学めぐり

場所

(旧堀田邸・佐倉順天堂記念館・武家屋敷・国立歴史民俗博物館)

集合：午前8時30分
 場所：友部社会福祉会館
 参加費：1,500円(昼食代・入場料等込)
 定員：40名(先着順)



※各支部委員(区長)等を通じて参加者募集

同時に基金箱を設置しましたところ、皆様方から温かいお心が寄せられ、募金運動に一役買うことが出来ました。また、友部駅前のトモア内に、ボランティアの皆様の努力によりNPO運営の子ども食堂がオープンし、大きな反響を呼びました。このように、福祉への関心がだんだんと高まつて来ているように思います。超高齢化社会を目前にして、一日でも長く元気で豊かな日々を過ごすことが出来るようにと願わずには居られません。女性部の活動も、そのお手伝いをしたいと思いつつ、また新しい年を過して行きたいと思っております。どうぞよろしくご指導の程、お願い申し上げます。



二所神社で鶴田講師の説明を聞く

【北川根ウォーク】
 今回で4回目となります北川根ウォークが、講師を鶴田信晃さんをお願いして開催されました。北川根地域は常磐高速と北関東自動車道が交差してしますが、古来より東西を結ぶ塩の道と南北を結ぶ街道の要所だったそうです。塩の道沿いにある慈救堂古墳からは刀や勾玉、土器類が発掘されています。また、1602年に廃城となった湯崎城は、南側は崖で自然の要害となり麓を流れる酒沼川が天然の濠ともなり防衛機能の高い城だったそうです。その他、旧北川根村役場跡、二所神社や鎌倉・室町時代の経塚などを巡る約2時間間のウォーキングでしたが、北川根地域の歴史に触れて有意義な時間を過ごすことができました。
 (小川)

10月21日

北小4年生と愛好会との
 グラウンドゴルフ



十月二十四日、今年も本校の四年生が北川根グラウンドゴルフ愛好会の方々とグラウンドゴルフの交流会をさせていただきました。児童は、ルールやマナーについて教わりながら、楽しく活動することができました。
 児童からは、「初心者で、分からないことが多かったが、優しく教えてくれた。」「初めてなので少し緊張しましたが、ホールインワンをとれてとてもうれしかったです。またやりたいです。」などの感想が聞かれ、地域の高齢者の方との交流を深めることができました。今後も継続して行わせていただけたらと感じています。(北川根小学校 関)

地域交流

グラウンドゴルフ大会

11月1日



北川根グラウンド (11月1日)

第13回北川根地域交流グラウンドゴルフ大会が、11月1日(土)前日心配されていた天気も晴天に恵まれ、スポーツ日和となりました。

北小収穫祭でバザー

10月28日

今年もバザーのための作品作りを三日間行い、おしゃやかな手差しを60組作りました。女性部の皆さんが多数出品してください、北川根小学校とPTAのご好意により十月末の収穫祭に、PTAのバザーと一緒に開催することが出来ました。おかげ様で予想以上の収益金があり、女性部



が出来ました。

(水庭)

旭悠遊クラブ、コロナの会共催、社協北川根支部協賛で、北川根グラウンドで開催いたしました。各地区高齢者クラブ総数44名、男性26名、女性18名参加で盛会となり、鈴木裕支部長と、来賓の常井すみれ園理事長に挨拶をいただいた後、体操し、鈴木支部長、常井理事長による始球打式をしていただき8組に分かれてゲーム開始。熱戦となり、和気あいあいに楽しく有意義な大会になりました。優勝は男子・福田猛さん、女子・関百合子さん、ともに、旭悠遊クラブでした。(コロナの会 菊地綾)

平成29年度会員会費
 ご協力ありがとうございました
 (ごさいました)

- 〔法人会員〕 (順不同・敬称略)
- 石 沢 5,000円 (株)菅谷車輛整備
 - 湯 崎 3,000円 (株)表面化工研究所
 - 30,000円
 - 30,000円 M.G.M友部店
 - 5,000円 カトウ食品(株)友部工場
 - 3,000円 友部湯崎湖
 - 3,000円 ミニストップ友部湯崎湖
 - 住吉本宿 10,000円 (株)伊勢甚友部スクエア
 - 10,000円 陽だまり
 - 3,000円 (株)ホンダカーズ笠間友部店
 - 小川興業(株)
 - 茨城トヨタ自動車(株)友部店
 - (株)本田友部店
 - コイケ酸商(株)水戸営業所
 - 花色人
 - 住吉新宿 10,000円 (有)加倉井板金工業
 - (有)加倉井板金工業
 - (株)水戸香美運輸
 - 随分附本郷 3,000円 鶴田肥料店
 - 3,000円 鶴田直商店
 - 5,000円 富田デンキ
 - 5,000円 柏井
 - 3,000円 えんまん
 - 3,000円 阿内塗装工業
 - 砂川産業(株)水戸店
 - (株)東洋ヒーター
 - 仁 古田 5,000円 (株)スガヤ工務店
 - (株)三栄製作所
 - 友光エンヂニアリング(株)
 - 3,000円 セイコーマートおぬまや
 - 長 兎路 5,000円 (株)玉越工業
 - 3,000円 ジヤパンテック(株)
 - 3,000円 (株)筑波エレクトロン
 - ヘアーサロン・イノ
 - 赤津齒科
 - (有)野口組
 - 水戸屋建設(株)
 - (株)赤津電気
 - ボディーショップ・モチマル
 - 誠和不動産
 - 長 兎路 3区 5,000円 芳野工業(株)
 - エリアカラオケ第一スタジオ
 - 東 桑美美容室
 - 5,000円 稲穂
 - (株)石井鉄工所
 - 茨城中央運輸(有)
 - 3,000円 (株)竹田自動車商会
 - 藤乃家
 - 西 原 5,000円 木下歯科医院
 - 和楽亭
 - 3,000円 (有)アサヒハウジング
 - 古賀建設(株)
 - 白澤左官工業
 - 旭丘団地 5,000円 アオキ石材(有)
 - 旭接骨院
 - 7,000円 セブンイレブン友部旭町西原店
 - 西 協 3,000円 (株)桧家住宅北関東
 - 長 野 10,000円 常陸クリニック
 - 3,000円 オートクロスミヤザキ
 - みどり薬局

平成29年度 北川根支部会員会費報告

地区名	法人	特別	一般	会員	合計
石 沢	2	0	43	45	51,000
湯 崎	0	0	11	11	11,000
住 吉 本 宿	4	0	26	30	69,000
住 吉 新 宿	8	3	126	137	175,000
随 分 附 本 郷	3	1	73	77	106,000
随 分 附 新 田	3	4	42	49	63,000
植 井 団 地	0	3	43	46	59,000
旭 丘 団 地	4	1	29	34	47,000
植 井 団 地	0	0	29	29	29,000
旭 丘 団 地	0	0	3	3	3,000
仁 古 田	4	2	73	79	100,000
長 兎 路	10	3	95	108	145,000
長 兎 路 3	4	0	29	33	49,000
東 原	4	0	18	22	34,000
西 原	7	0	55	62	80,000
陸 団 地	0	0	58	58	58,000
旭 丘 団 地	1	10	80	91	119,000
住 吉 団 地	0	1	38	39	44,000
みどりの団地	0	0	37	37	37,000
旭 団 地	0	0	92	92	92,000
西 原	1	0	34	35	37,000
長 野	4	0	8	12	27,000
西 原 住 宅 班	0	0	3	3	3,000
グリーンウッド	0	0	9	9	9,000
南 ケ 丘 班	0	0	8	8	8,000
さわやか班	0	0	10	10	10,000
あさにし班	0	0	16	16	16,000
白 首 合 区	0	0	39	39	39,000
仁吉田東部4班	0	0	6	6	6,000
グイラウイング	0	0	12	12	12,000
エスポワール	0	0	8	8	8,000
ベルコスモ	0	0	16	16	16,000
新 西 原	0	0	27	27	27,000
石 沢 (学 校 前)	0	0	5	5	5,000
合 計	59	28	1,201	1,288	1,594,000

わが地域 ⑪

湯崎地区



湯崎城の城郭跡

湯崎地区にある湯崎城は、いつたれによって築城されたのか、あまり知られていなかった。その資料があると聞いたので、上野公資宅に伺って見せていただきました。かなり詳しく書かれておりまして、まとめてみますと、以下のようなことが分かりました。

鎌倉幕府の時代は、常陸守護小田・穴戸一族にとつての勢力争いの相手は、常陸大掾(だいじょう)一族の吉田氏と佐竹・江戸両氏であった。その後、鎌倉幕府は滅亡し、室町

幕府の時代になり、約60年の長きにわたり敵味方が入り乱れ戦いが続いた。南北朝時代の始まりの頃に、湯崎城は、穴戸氏の本拠地である穴戸城を守る東南方面の備えとして、領主穴戸朝里が一族の穴戸上野四郎知連に命じて築城したものと推定されます。貞和二年(1346)に住吉の教住寺が新たに開山されているので、これと考え合わせると、築城時期は、この寺の開山の数年前後と思われる。この湯崎城は、湯崎地区の田向の北側の大地にありまして、近くを奥谷街道や、鯉淵、水戸への街道が通じ交通の要衝でもあった。

天保七年(1836)の村絵図面(上野長文氏蔵)を見ると、舟型の城跡が書かれており、築城当初より、幾度か改築があったことがうかがわれます。

文明十三年(1481)五月に水戸の江戸氏と小鶴原で戦った時、小田氏より小幡城の救援の依頼があり、小田・穴戸・笠間・大掾氏らの連合軍は、穴戸持久が軍代を勤め、湯崎城に三千余騎の武者が集結して小幡城に向けて出陣した記録が残されておられます。それほど大きな城であったが、天正十九年(1591)の穴戸氏滅亡後は佐竹氏が支配したが、慶長七年(1602)佐竹氏が秋田へ国替えになり廃城となった。

なお、湯崎城本郭跡は笠間市指定文化財である。

昭和二十年の中頃まで、一部の堀がありましたが、それも埋め戻され、現在には北西の山側に一部堀を残すのみであります。(上野 忠夫)

合同茶話会

日光街道へ「船村徹記念館」



Aグループ：11月1日(水)

仁古田東部、仁古田西部、石沢、湯崎、田向、岱長、免路、長免路、三原、東原、随分附新田、柏井、旭丘、柏井団地、旭ヶ丘団地

11月1日と6日、各班とも30名の参加者を頂き、抜けるような青空の下、紅葉の美しい日光市の船村徹記念館へ行って来ました。

久し振りにお会いした方々も居られたらしく、思い思いにお話はずんずんだった様子でした。

今市の道の駅、「ニコニコ本陣」はシーズン中でもあり大勢の人で賑わっており、私達もあの歌、

Bグループ：11月6日(月)



住吉新宿、住吉本宿、旭団地、西協、長野、グリーンウッド、陸団地、西原、西原住宅、住吉団地、みどりの団地

編集後記

で逆転されたり、故障続きで最後の最後まで切らなうまいかな、いまでもあります。結果は結果として、いまやるべきことにきちんと取り組みたい。(藤森)

この歌を口ずさみながら館内を見学しました。「歌は心でうたうもの」と言った船村徹の人生とその仕事の内容が多く展示品により紹介されており、日本人の心の琴線にふれるような名曲を作った偉大な人であったと、再認識して来ました。

その後、昼食を楽しみ、おかし工房や漬物屋さんで買い物をして帰途につきました。バスの中では恒例のビンゴゲームでひとときを過ごし、来年の再会を約束しながら無事に帰って来ました。(上野)